

令和元年度 学校評価考察について

保護者 【学校運営全般・教育活動】

- 肯定的な回答（A と B を合わせたもの）が11項目中すべてを占め、保護者の皆様に良好な理解をいただいている。
- 否定的な回答（C と D を合わせたもの）が11項目中すべて10%以下だったものの、昨年度より数値が高くなっている項目もある。
- No. 7「学校（担任）は、分かりやすい授業に努めている」の肯定的な回答が97%であったことと、児童アンケート No. 4「勉強したことは、よく分かりますか」の肯定的な回答（A:54%, B:37%）が91%であったことが大いに結びついていて、児童の学力向上のため、学校と家庭とが相互に関わり合ってきた結果であると考察する。
- No. 2「学校は、保護者が学校行事や授業等子どもの活動が分かる機会を設けている」の肯定的な回答（A:67%, B:31%）が良好なことは、学校ホームページや学校、学年、学級だよりにより、日々の授業の様子等を積極的にお知らせしてきた結果であるにとらえている。
- No. 3「学校は、保護者の考えや思いを聞く機会を設けている」の否定的な回答（C:9%, D:1%）が少なくない。本校は一年間を通して家庭訪問、授業参観4回（参観後に学年学級懇談会）、12月に教育相談を位置づけているが、一つ一つの内容について再検討していきたい。
- No. 8「学校は、適度な量の家庭学習に取り組ませている」について、学年が上になるにつれて否定的な回答の率が多い。家庭での学習については、発達段階に応じて、量や内容についてある程度学年で統一し課しているが、子どもたちの様子を見ながら、内容や量について再検討していきたい。

* 資料：昨年度（平成30年度）学校評価アンケート結果（保護者）

【学校運営全般・教育活動について】		A	B	C	D	※網掛けは、4と3を合わせて90%以上、2と1を合わせて15%以上。太線囲みは昨年より評価が上がったもしくは下がったもの
1	学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。	52%	45%	3%	0%	
2	学校は、保護者が学校行事や授業等子どもの活動が分かる機会を設けている。	69%	30%	1%	0%	
3	学校は、保護者の考えや思いを聞く機会を設けている。	46%	46%	7%	1%	
4	学校が、保護者に出す文書の量は適切である。	44%	48%	7%	1%	
5	学校は、清潔で掃除が行き届いている。	54%	41%	5%	0%	
6	学校は、社会のルールやマナーを身につけさせようとしている。	57%	40%	2%	1%	
7	学校(担任)は、わかりやすい授業に努めている。	69%	30%	1%	0%	
8	学校は、適度な量の家庭学習に取り組ませている。	51%	43%	5%	1%	
9	学校は、子どもの安全意識の向上に努めている。	56%	42%	2%	0%	
10	学校は、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に努めている。	45%	47%	7%	1%	
11	学校は、子どもの健康を考えた食育指導をしている。	57%	39%	4%	0%	

【保護者の対応】

I 【知】 望ましい学習習慣の確立

- No. 1「毎日家庭学習に取り組ませている」について肯定的な回答（A:51%, B:39%）が多く、家庭でも子どもの学力向上のために力を注いでいることが考察される。その反面、No. 4「宿題以外に自主学習に取り組ませている」、No. 5「読書の習慣をつけさせている」については肯定的な回答の割合が少なく、特に No. 5に関しては高学年に否定的な回答の割合が多い。決められた課題学習ばかりでなく、自分から学習の内容を決めることができるようにしていきたい。
- No. 2「目安となる学習時間を決めて取り組ませている」No. 3「集中して取り組むためにテレビを消している」について否定的な回答の割合が多く、昨年度比においても否定的な回答の割合が多くなった。各学年、学級活動等を通して、自分から効率の良い学習に取り組むことができるようにしていきたい。

II 【徳】 基本的な生活習慣と田村っ子10のルールの定着

- No. 7「親子でよく話をしている」、No. 8「親（大人）の言うことをきちんときかせている」、No. 9「不適切な言動についてはきちんと注意している」について肯定的な回答の割合が多く、家庭でのしつけに努力をしていることを感じた。子どもの健全な成長のために、これからも学校と家庭との連絡を密にして取り組んでいきたい。
- 田村っ子10のルールは「あたりまえのことをあたりまえに思っあたりまえに行動する」という願いのもと、基本的な生活習慣を身に付けさせることがねらいである。No. 4「家の手伝いをさせている」、No. 5「テレビを見る時間やゲームをする時間を決め、守らせている」、No. 6「はきものをそろえる、きちんと片付けをするなど家庭生活におけるルールを決めて守らせている」について否定的な回答の割合がどれも15%以上であることを踏まえ、保護者との情報交換を通して、家庭でのしつけについて意識を高めることができるように働きかけたい。

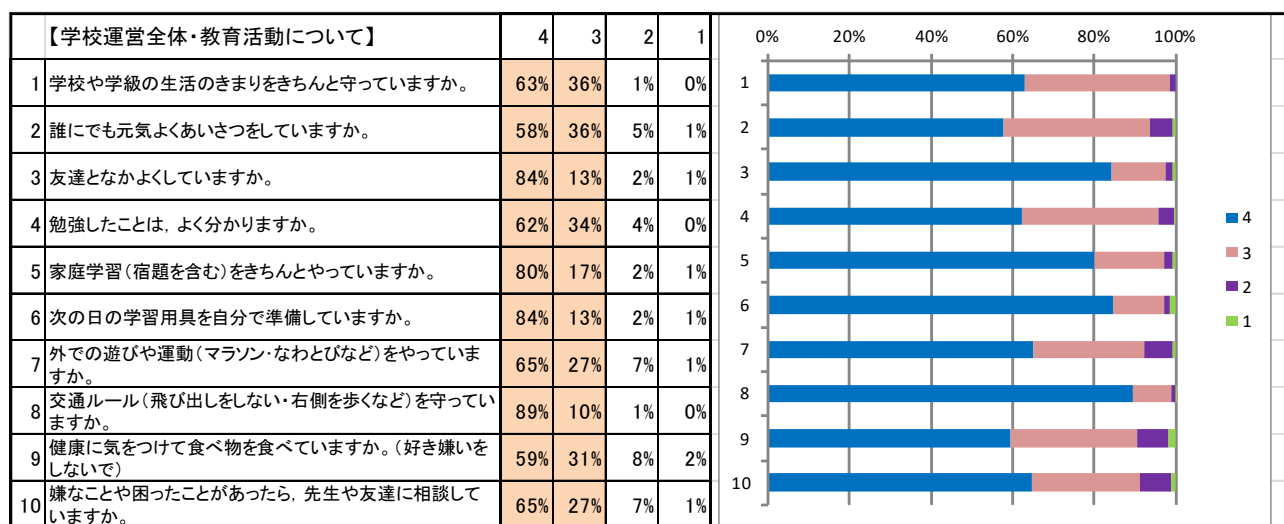
III 【体】 健康の保持増進と体力向上

- 各項目共に、保護者の子どもたちへ取組について肯定的な回答の割合が多い。基本的な生活習慣の確立に準ずる内容が多いので、II 【徳】 同様、健康の保持増進と体力向上について家庭での取組同様、意識を高めていきたい。
- No. 4「天気がよいときは外で遊ぶことを奨励している」No. 6「好き嫌いなくものを食べることができるようにしている」について、学校教育の中でも子どもたちの意識を高められるような取組ができるので、家庭での取組に相乗していきたい。

児童 【学校運営全般・教育活動】

- No.4「勉強したことは、よく分かりますか」については、【保護者】考察の中でも触れたが、保護者の思い、取組と児童の結果とが大いに結びついていて、評価できる。ただし、否定的に回答した割合も少なくないことから、下位児に対する手立てについて、さらなる配慮が必要である。
- 10項目中、6項目が網掛け（A+B又はC+Dの合計が、昨年の全体よりも数値が高い（+5以上））になった。その内容は特定の学年に偏っているわけではなく、全体的にその割合を押し上げてしまったようである。日々の様子からの見取りや、家庭との密な連絡を基に、子どもたちの変化を敏感に受け止め、学校教育全体で指導していく必要がある。
- No.3「友達となかよくしていますか」については、昨年度と同等の回答であったが、引き続き児童の様子を見ていく必要がある。年間を通して定期に実施する「せんせいあのね」から得られる情報も大切にしながら、いじめ未然防止・早期発見・早期対応を継続的に実施していく必要がある。

* 資料：昨年度（平成30年度）学校評価アンケート結果（児童）



教員

I 教育目標に関する項目

- 全18項目中、そのすべてが肯定的な回答を得ることができた。
- 昨年度比において、評価が上がったものが7項目、下がったものが3項目あり、全体的に見ても教員の取組は評価できる。
- No.4「分かりやすい授業に努めている」、No.5「適度な量の家庭学習に取り組ませている」、No.6「学習準備について適切に伝えている」について、いずれも肯定的な回答が100%になり、教員が一つ一つの授業を大切に、家庭との連携を深めながら、学力向上に努めていることが裏付けられる。
- 定期に実施される生徒指導全体会においても、児童のあいさつが不十分であるとの意見が出される。No.2の回答結果は悪いものではないが、引き続き継続的に指導を加えて

いく必要がある。

Ⅱ 教育活動・学校運営全般

- No. 1～ No. 4について、いずれも肯定的に回答した割合が高い数字を示し、教員が保護者との話し合いを大切にしていることが伺える。
- No. 6～ No. 9についても肯定的な回答が100%を示し、教員が生徒指導を通して、いじめの未然防止・早期発見・早期対応に全力に取り組んでいることが伺える。

学校評議員

- 全体的に、肯定的な回答、評価をいただくことができた。
- No. 8「学校は、適度な量の家庭学習に取り組ませている」について、その量は受け止め方に個人差があるものの、その評価結果を真摯に受け止め、改善に向けた取組が必要である。
- これからも、地域の代表である学校評議員様からの忌憚のないご意見をもとに、よりよい学校運営に努めていく必要がある。